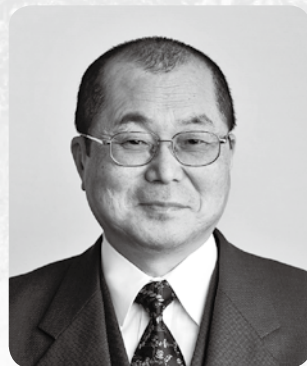


新春

市民の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様には、平成22年の輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、常陸大宮市誕生5周年を迎え、10月16日の記念式典を始め各種記念行事を行いました。式典では、18人の「常陸大宮大使」を任命し、今後、県内外において当市の素晴らしさを広くPRしていただけるものと思っています。また、長引く不況が国内外に暗い影を落とした一年でした。このような中、2割のプレミアム付商品券を2度にわたり発行し、地域経済の活性化に努めてまいりました。更に、市民の皆様の身近な足として利用していただくために、昨年10月1日、御前山地域において「予約制乗り合いタクシー」の試行運転を開始しました。平成22年度中には、市内全域で利用できるよう事業を進めて参ります。

急速な少子高齢化は、市内各地で維持・存続が危ぶまれる集落が発生する深刻な事態となっております。



常陸大宮市長
三 次 真一郎

今後は、昨年任命した集落支援員のご協力をいただき、生活等の支援を行って参ります。なお、「過疎地域自立促進特別措置法」が、今年3月に失効となります。「過疎地域なくして都市地域なし。過疎地域の健全な発展なくして、都市地域の健全な発展なし。」というのが私の思いです。過疎地域を有する当市としましては、関係機関と連携し、新たな過疎対策法の制定を国に強く求めています。

将来を担う子どもたちは市の宝であり、健全な成長を支えることは最重要課題と思っています。少子化による教育環境への影響が懸念される中、昨年4月、統合・御前山小学校が開校しました。今後も、将来を見据え、皆様のご意見に十分耳を傾けながら、小中学校の適正配置を実施して参ります。

また、地域の歴史や伝統を継承していくことは、現在の私たちの責務です。記録や歴史的資料を後世に伝えるため、公文書館の設置を検討して参ります。

今年は寅年です。「もつと元氣に」を合言葉に、トラのように勇猛果敢に難題に立ち向かっていく所存です。ので、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、平成22年が市民の皆様にとつて辛多く意義深い年になりますことをご祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。

二〇二〇年



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、国内外とも目まぐるしく変化にとんだ、多様な一年であったと思います。

米国では政策のチェンジを掲げ、圧倒的な人気で1月にオバマ大統領が誕生しましたが、景気の回復が進まず失業率が1割を超える状況が続いております。また、11月にはドバイショックで欧州、中東で金融不安が浮上し、14年ぶりに84円台の円高となり、この水準が続けば輸出企業の業績悪化や株安に伴う景気の腰折れが懸念されるなど、我が国の経済状況も見通しに確たる明るさが見えてきておりません。

国内では、早くから自民党政権のもと景気対策として多くの臨時交付金を抛出したしましたが、あまり効果が見えない中での8月30日の衆議院議員総選挙においては、50年続い



常陸大宮市議会議長
木村 勝 昭

た政権が自民党から民主党へと交代するという大きな変革をもたらし、混迷が続いている状況にあります。

本市におきましては、昨年は合併5周年を記念する年であり、多くのイベントが開催され、特にプレミアム商品券は2回発行され、地域の活性化に大いに貢献されたものと考えております。しかし、新型インフルエンザの流行は市民に大きな不安を与え、事業の見直しや、学校では休校や学級閉鎖が相次ぎました。市では、感染拡大防止のためのワクチン予防接種そして公費助成と対策を実施されましたが、予断を許さない状況にあります。

我々市議会といたしましても、地方議会の果たすべき役割と重要性を認識し、多様化するニーズを的確にとらえ、スピーディに取り組むことが議員の責務と考え、昨年9月の議会には新たに「行財政改革推進調査特別委員会」を設置し、効率的な行政を目指し努力しているところであります。

今年8月には4年の任期が満了し、議員定数も26人から22人となります。多難な財政状況と依然として厳しい生活環境ではございますが、市民の皆様の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、常陸大宮市の限らない繁栄と本年が皆様にとって飛躍の年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。